

あいち病害虫情報 最新情報

平成26年6月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

梅雨入りは平年よりやや早い

梅雨入りは6月4日頃と平年より4日早くなりました（平年6月8日頃、前年5月28日頃）。気象予報によれば、向こう1か月は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されていますので、病気の発生に十分な注意が必要です。

いもち病（葉いもち）

6月12日を中心に、県内広域的に葉いもち感染好適条件が現れました。葉いもちは例年6月下旬から目につくようになりますが、今年も平年と同じような時期に発生しそうです。葉いもちを対象とした育苗箱施薬をしていない場合は、葉いもちの早期発見、早期防除に心がけましょう。なお、本日発表の「いもち病（葉いもち）情報第1号」に葉いもち感染好適日の判定結果を掲載しましたので、参考にしてください。

ウンカの飛来に注意

セジロウンカなどのウンカ類やコブノメイガは、梅雨前線の活動に伴い断続的に飛来します。ほ場の観察をしっかりと、発生状況の把握に努めてください。なお、飛来の状況はウンカ情報として適宜提供していきますので、防除の参考にしてください。

斑点米カメムシ類

カスミカメムシ類は、畦畔、土手及び休耕田などで出穂したイネ科の雑草で繁殖します。また、ミナミアオカメムシは、コムギ収穫後のほ場では主にタデ科雑草やイタリアンライグラスに寄生しています。ほ場周辺の除草を徹底し、繁殖を未然に防ぎましょう。

果樹の病害

モモせん孔細菌病は、風を伴った雨で発生が急激に拡大します。風当たりの強いほ場では防除を徹底しましょう。

ブドウ黒とう病及びブドウべと病は、降雨が続くと短期間に発生が急増します。発病葉を見つけたら速やかに防除しましょう。ブドウ晩腐病は、7月中旬まで降雨が多いと発生が多くなりますので、昨年発生が多かったほ場では特に注意し、罹病房は見つけ次第除去しましょう。

ナシ黒星病は風雨により発生が拡大しますので、昨年多発したほ場では特に注意し、防除を徹底しましょう。

カキの角斑落葉病及び円星落葉病の感染時期です。今後の風雨により感染しやすくなりますので、注意しましょう。

果樹カメムシ類

チャバネアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は、幸田町や豊橋市で多い状況が続いています。今後も活動が活発な状況が続きますので、引き続き果樹園への飛来に注意し、防除しましょう。

ナシヒメシンクイ

フェロモントラップにおけるナシヒメシンクイ第1世代成虫の誘殺数は、犬山市や豊田市でやや多くなっています。誘殺ピーク時期は地域によるばらつきがありますが、おおむね平年並です。今後は途切れなく発生し、世代数を重ねるほど虫の密度が高くなります。モモ、ナシにおいて果実が食害されますので、収穫前日数に注意して防除しましょう。

モモハモグリガ

フェロモントラップにおけるモモハモグリガ第1世代成虫の誘殺数は、やや少ない状況でした。被害葉が目立つほ場では、収穫前日数に注意し、第3世代幼虫ふ化ピークを迎える6月下旬に防除を徹底しましょう。

チャノキイロアザミウマ

チャノキイロアザミウマの黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並からやや少ない状況ですが、ほ場周囲におけるイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数はやや多い状況です。この時期は軟弱な葉や新梢で本種が増殖しますので、不要な枝は取り除くなど栽培管理に注意しましょう。

チャノキイロアザミウマの防除適期である第2世代成虫の発生ピークは、有効積算温度から予測日を算出したところ、名古屋市6月13日、愛西市・豊田市・蒲郡市6月17日、南知多市・豊橋市・伊良湖6月18日、岡崎市6月19日、新城市6月21日となりました。ウンシュウミカンでは、6月上旬から7月にかけて果梗部の被害が発生しやすくなり、注意が必要です。ブドウでは、袋掛けまでに防除を徹底しましょう。

トマト黄化葉巻病、キュウリ黄化えそ病の伝染源を減らしましょう！

施設トマト（促成・半促成栽培）の栽培が終了する時期です。タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を伝搬します。次作トマトが黄化葉巻病に感染しないように、栽培終了後、施設を密閉してタバココナジラミを死滅させ、発病株は適切に処分しましょう。

施設キュウリでは、キュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を伝搬するミナミキイロアザミウマが発生しているほ場があります。次作キュウリが黄化えそ病に感染しないよう、栽培終了後、施設を密閉してミナミキイロアザミウマを死滅させ、発病株は適切に処分しましょう。

キクの病害虫

白さび病は例年、梅雨期に感染が多くなります。発病が見られるほ場では、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。

○農薬危害防止運動実施中（6月1日から8月31日まで）

今年度の重点事項は次の3つです。

- 1 農薬ラベルの十分な確認
- 2 農薬の飛散防止
- 3 農薬の盗難・紛失等の防止

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820